



●写真上がナンバープレートをもっとも手前・下に、下がもっとも奥上にした状態。このように比較的自由度の高い取り付けが可能となっているのも同製品の特徴だ



Asianmotors ★AMC★

## ALUMI FENDERLESS KIT

◎アジアモーターズ ◎東京都西東京市下保谷2-7-30 ◎042-424-1635 ◎http://www.asianmotors.co.jp

### リーズナブルな価格で手軽にカスタムを楽しむ

現在、テールまわりをスッキリとさせるために、フェンダーレスキットを用いたスタイルが一般的となっているカースタイル。GPZ900Rもその例外ではなく、各種メーカーから多彩なフェンダーレスキットがラインナップされている。

そんななか、今回はアジアモーターズのアルミフェンダーレスキットを紹介したい。あまり聞き慣れない社名かもしれないが、06年に設立されたメーカーで、今回紹介するGPZ900R用をはじめとして各車種用のフェンダーレスキットなどをリリースしている。リーズナブルな価格帯に設定しつつ、精度の高い点が特徴の一つだ。

なぜこんな価格でリリース可能なのか。それは同社が大手パーツメーカーにOEMで供給する側のメーカ



●フェンダーレスキットのプレート部分とシートレール間のマッキングは、写真のようにかなり精度が高くて奇映えだ。この辺りの仕上がりは専用設計ならではの



●シートレールは、シートを乗せたままでも簡単に作業できる。また、シートレールは、シートを乗せたままでも簡単に作業できる。また、シートレールは、シートを乗せたままでも簡単に作業できる。



●ナンバー灯は別売りだが、オーナーの意向に合ったものを装着してほしいという同社の意向が反映されている。上が6連、下が3連タイプ

## スタイリッシュにしつつ 利便性も向上する小道具

1として長年活動し、金属工作に關する膨大なノウハウを蓄積してきた努力のためなのだ。また、CADを用いて3次元設計を行なう設計から製作までの一連の作業工程を引き受け、実生産する工場と強いパイプを構築してきたことも強みの一つ、これらにより、生産コストを抑えつつ、精度を高めることに成功したのだ。取り付けも精度が高いため完全なボルトオンであり、かつ車体側のマッキングにも問題がない。このフェンダーレスキットは純正18インチに対応しているが、リヤホイールを17インチ化した際には別売の大容量キットの装着も可能となる。しかも3次元CADを用いた設計と精度の高い仕上がりによって、大容量キットを装着するためフェンダーレスキットを買い替える必要もなく、そのまま一緒に装着できる形状となっているのも見逃せない。

また本フェンダーレスキットには、リヤまわりのスタイリング変更以外にも別の利点を生み出している。それは、シート下やリヤカウル内の容量増加だ。基本的にはバイクには小物を収納するためのスペースを確保することを考慮しているとは言い難い。GPZ900Rも例外ではなく、シート下には書類が入る程度であり、シートカウル内も付属工具がつかうじて収納できるだけのスペースしかない。しかし同社フェンダーレスキットは、マルチムしてもタイヤと干渉させない距離を確保しつつ、ペットボトルを本が収納できるだけの容量を確保。さらに、別売大容量キットを装着することで、シート下にもレイアウトエア類を収納する十分なスペースが用意されるのだ。バイクそのものの自由度を高めつつ、低価格なので手軽に購入してスタイリッシュなリヤまわりを演出できるこのフェンダーレスキット。ぜひ一度、試してみたい一品だ。